

Electret Condenser Microphone

取扱説明書
Operating Instructions
Mode d'emploi
Bedienungsanleitung
Istruzioni per l'uso
Manual de instrucciones
使用说明书

お買い上げいただきありがとうございます。

注意 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みの方**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ECM-674






Sony Corporation ©2005 Printed in Japan
　＊ 3 9 9 0 3 3 9 0 4 ＊ (1)


安全のために


ソニー製品は安全に充分に配慮して設計されています。しかし、製品は、まちがった使いかたをすると、けがにつながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。


- 「安全のために」の注意事項を守る。
- 長期安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店にご相談ください。
- 故障したら必ず、お買い上げ店にご相談ください。


警告表示の意味 この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。	注意を促す記号 <p> 注意</p> <p> 行為を禁止する記号</p> <p> 行為を指示する記号</p>
注意 この表示の注意事項を守らないと、 火災 やその他の事故により けが をしたり周辺の物品に 損害 を与えたりすることがあります。	注意 下記の注意を守らないと、 けが をしたり 周辺の物品に損害 を与えることがあります。


注意 下記の注意を守らないと、**けが**をしたり**周辺の物品に損害**を与えることがあります。


集音以外の目的に使用しない
 **禁止**
集音以外の目的でご使用になりますと、思わぬ事故、火災やけがの原因となることがあります。


使用時は周囲の状況に注意をはらう
 **注意**
周囲の状況を把握しないままご使用になりますと、事故やけがなどの原因となります。

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に設置しない
 **禁止**
上記のような場所やこの取扱説明書に記載している仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

運搬時には、接続ケーブルを取り外す
 **指示**
本機を運搬する際には、接続ケーブルを必ず取り外してください。接続ケーブルに引っ掛かると、転倒や落下の原因となることがあります。

分解や改造をしない
 **禁止**
分解や改造をすると、火災やけがの原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない
 **禁止**
水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに電源を切り、接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

安定した場所に設置する
 **禁止**
ぐらいついた台の上や傾いたところに設置すると、製品が落下してけがをすることがあります。特に、電池交換の際にはご注意ください。

電池についてのご注意
液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲により、**大けが**や**失明**を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては、該当しない注意事項もあります。

乾電池
アルカリマンガン

乾電池が液漏れしたとき
乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたは「**ユーザーサービス窓口**」にご相談ください。液が漏れ入ったときは、**失火の原因となるので、自をこすらず**、すぐに水道水などのきれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、きれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

注意
• 外装のチャープをはずはかしたり、傷つけない。
• 指定された種類の電池以外は使用しない。
• 火のそばや直射日光が当たる場所、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。

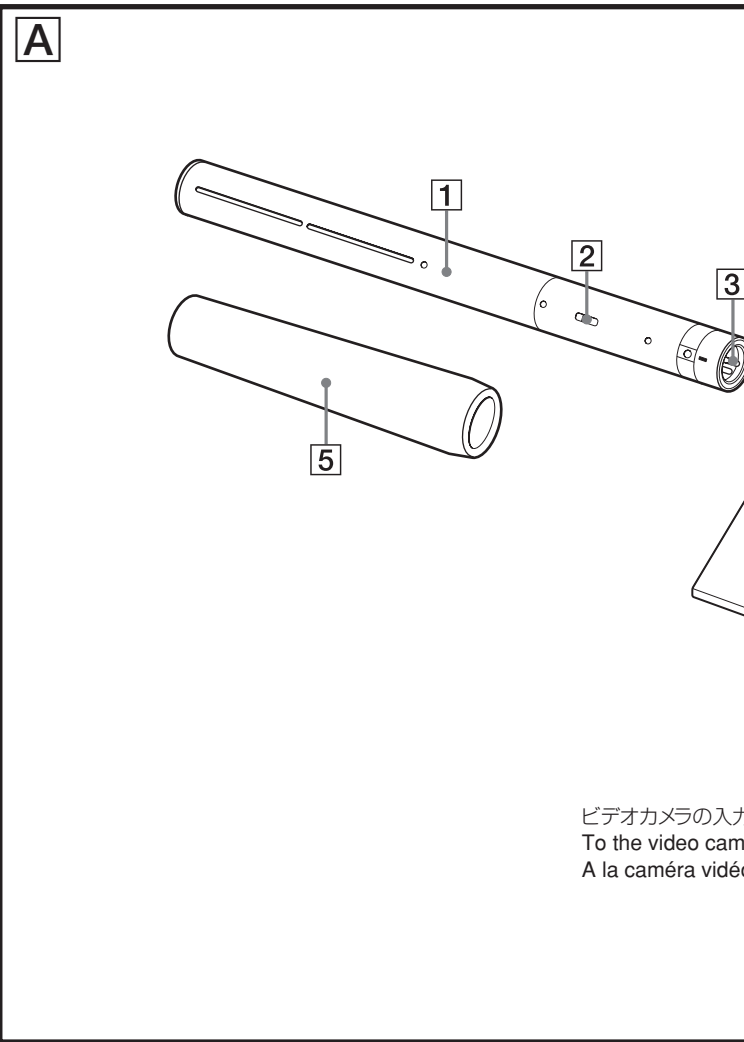
お問い合わせは「**ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内**」にある窓口へ

乾電池について
警告
• 機器の表示にあわせて＋と－を正しく入れる。
• 充電しない。
• 火の中に入れては、ショートさせたり、分解、加熱しない。
• コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
• 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多い所で使用しない。
• 液漏れした電池を使用しない。
• 電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは本体から取り出す。

注意
• 外装のチャープをはずはかしたり、傷つけない。
• 指定された種類の電池以外は使用しない。
• 火のそばや直射日光が当たる場所、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。

お問い合わせは「**ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内**」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区南1-7-1 http://www.sony.net/



日本語	
お買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。	
主な特長	
<ul style="list-style-type: none">周囲雑音を拾いにくい鋭指向性 鋭い指向性を持ち、卓上での集音をはじめ、屋外での狭角度集音やビデオカメラへの搭載など、中距離集音に適しています。 小型・軽量 全長268mm、重さ185gで、使いやすく持ち運びに便利です。 不要なノイズや低音域をカットするローカットスイッチ付き 風や振動による雑音を低減します。 2ウェイ方式の電源供給 単3乾電池(1本)と、外部電源(ファントム給電)のどちらでも使用できます。	
各部の名称と使いかた(図A)	

(文の番号と図の番号を照らし合わせてご覧ください。)

- マイク本体**
- LOW CUTスイッチ**
風雑音等を効果的にカットします。**M (←)**: 標準特性 **V (←)**: LOW CUT特性
- 出力端子(XLR-3-12Cタイプ)**
マイクで集音した音声が生じる入力レベルを、外部電源使用時には、電源が外部から供給されます。
- 4-a) マイクスペーサー(成型タイプ) / 4-b) マイクスペーサー(シートタイプ)**
マイクホルダー(カメラに搭載または別売)を介して、マイクをビデオカメラに取り付けるときに使えます。
- ウインドスクリーン**
マイク本体に付くカバーで使った、風や息がマイクに直接当たるときに生じる雑音を低減します。
- マイクホルダー**
マイクホルンスタンド(別売)にマイクを取り付けるとき使います。角度調整部のネジがゆるんだときには、コイン等で締め付けください。
- 接続コード**
マイクの出力端子③とビデオカメラの入力端子(XLRタイプ)を接続します(ケーブル長:500mm)。

最大入力音圧レベル 124 dB SPL (マイクホルンの出力信号が1 kHzで3%の波形ひずみを生じる入力レベルの等価入力音圧換算値。0 dB=2×10⁻⁵ Pa)

ダイナミックレンジ 107 dB SPL以上

許容動作温度 0℃～+50℃

許容保存温度 -20℃～+60℃

* マイクホルンの各方向に風速2 m/secの気流を当てたとき、マイクホルンに発生する雑音出力の平均値を等価入力音圧に換算した値。(0 dB=2×10⁻⁵ Pa)

保証書とアフターサービス
保証書
この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス
• **調子が悪いときは**
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
• **それ以外の悪いときは**
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのユーザーサービス窓口にご相談ください。

• **保証期間中の修理は**
保証書の記載内容に基づいて修理されて頂きます。詳しくは保証書をご覧ください。

• **保証期間経過後の修理は**
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させて頂きます。

電源について
乾電池で使うには(図C)
マイク本体をねじって開け、電池入れに単3乾電池1本を入れます。

乾電池についてのご注意
乾電池の使いかたを誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。

- ①と②の向きを正しく入れてください。
- 乾電池は充電できません。
- 長い間乾電池を使わないときは、取り出してください。液漏れが起きたときは、電池入れに入った液をよく取り除いてから新しい乾電池を入れてください。

* 液漏れが起きたときと修理が必要になることがあります。お買い上げ店、または「ユーザーサービス窓口」にご相談ください。

外部電源で使うには
マイクホルンの出力端子につないだ接続コード⑦のもう一方の端子を、外部電源装置につなぎます。マイクホルンに乾電池が入っていても、電源は外部から供給されます。

ご注意
• 乾電池が入った状態でマイクホルンを外部電源で使用しているときに、外部電源装置の電源が切れたとき、マイクホルンが乾電池の電源を使用する状態に切り換わるまでは時間がかかる場合があります。

- このマイクを外部電源で使用する場合は、不平衡型ケーブルは使用できません。**必ず平衡型ケーブルを使用してください。**

主な仕様

形式	バックエレクトレットコンデンサ型
電源	単3乾電池(1本) / 外部供給方式 DC 40～52 V
消費電流	0.6 mA以下(乾電池) / 2 mA以下(外部電源)
出力端子	キャン XLR-3-12C タイプ
外形寸法	φ20×268 mm
質量	185g(本体のみ) / 208g(乾電池含む)
付属品	ウインドスクリーン(1)、マイクホルダー(1)、マイクスペーサー(2)、接続コード(1)、スタントアダプター(2)、取扱説明書(1)、保証書(1)

以下の項目はJIS C-5502-1991 マイクロホン工業規格に準拠して試験したものです。

周波数特性 40 Hz～20,000 Hz

指向特性 鋭指向性
出力インピーダンス 220Ω±20% 平衡型
正面感度(偏度±3 dB) -36dB(0 dB=1 V/Pa、1 kHz)
雑音 A-weighted、1 kHz、1 Pa

固有雑音 17 dB SPL以下(0 dB=2×10⁻⁵ Pa)

風雑音* 45 dB SPL以下(ウインドスクリーン装着時) / 50 dB SPL以下(ウインドスクリーン未装着時)

外部磁界の誘導雑音 0 dB SPL/1×10⁻⁷T(1 mG)以下

最大入力音圧レベル 124 dB SPL (マイクホルンの出力信号が1 kHzで3%の波形ひずみを生じる入力レベルの等価入力音圧換算値。0 dB=2×10⁻⁵ Pa)

ダイナミックレンジ 107 dB SPL以上

許容動作温度 0℃～+50℃

許容保存温度 -20℃～+60℃

* マイクホルンの各方向に風速2 m/secの気流を当てたとき、マイクホルンに発生する雑音出力の平均値を等価入力音圧に換算した値。(0 dB=2×10⁻⁵ Pa)

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

日本語	
お買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。	
主な特長	
<ul style="list-style-type: none">周囲雑音を拾いにくい鋭指向性 鋭い指向性を持ち、卓上での集音をはじめ、屋外での狭角度集音やビデオカメラへの搭載など、中距離集音に適しています。 小型・軽量 全長268mm、重さ185gで、使いやすく持ち運びに便利です。 不要なノイズや低音域をカットするローカットスイッチ付き 風や振動による雑音を低減します。 2ウェイ方式の電源供給 単3乾電池(1本)と、外部電源(ファントム給電)のどちらでも使用できます。	
各部の名称と使いかた(図A)	

(文の番号と図の番号を照らし合わせてご覧ください。)

- マイク本体**
- LOW CUTスイッチ**
風雑音等を効果的にカットします。**M (←)**: 標準特性 **V (←)**: LOW CUT特性
- 出力端子(XLR-3-12Cタイプ)**
マイクで集音した音声が生じる入力レベルを、外部電源使用時には、電源が外部から供給されます。
- 4-a) マイクスペーサー(成型タイプ) / 4-b) マイクスペーサー(シートタイプ)**
マイクホルダー(カメラに搭載または別売)を介して、マイクをビデオカメラに取り付けるときに使えます。
- ウインドスクリーン**
マイク本体に付くカバーで使った、風や息がマイクに直接当たるときに生じる雑音を低減します。
- マイクホルダー**
マイクホルンスタンド(別売)にマイクを取り付けるとき使います。角度調整部のネジがゆるんだときには、コイン等で締め付けください。
- 接続コード**
マイクの出力端子③とビデオカメラの入力端子(XLRタイプ)を接続します(ケーブル長:500mm)。

最大入力音圧レベル 124 dB SPL (マイクホルンの出力信号が1 kHzで3%の波形ひずみを生じる入力レベルの等価入力音圧換算値。0 dB=2×10⁻⁵ Pa)

ダイナミックレンジ 107 dB SPL以上

許容動作温度 0℃～+50℃

許容保存温度 -20℃～+60℃

* マイクホルンの各方向に風速2 m/secの気流を当てたとき、マイクホルンに発生する雑音出力の平均値を等価入力音圧に換算した値。(0 dB=2×10⁻⁵ Pa)

保証書とアフターサービス
保証書
この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス
• **調子が悪いときは**
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
• **それ以外の悪いときは**
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのユーザーサービス窓口にご相談ください。

• **保証期間中の修理は**
保証書の記載内容に基づいて修理されて頂きます。詳しくは保証書をご覧ください。

• **保証期間経過後の修理は**
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させて頂きます。

電源について
乾電池で使うには(図C)
マイク本体をねじって開け、電池入れに単3乾電池1本を入れます。

乾電池についてのご注意
乾電池の使いかたを誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。

- ①と②の向きを正しく入れてください。
- 乾電池は充電できません。
- 長い間乾電池を使わないときは、取り出してください。液漏れが起きたときは、電池入れに入った液をよく取り除いてから新しい乾電池を入れてください。

* 液漏れが起きたときと修理が必要になることがあります。お買い上げ店、または「ユーザーサービス窓口」にご相談ください。

外部電源で使うには
マイクホルンの出力端子につないだ接続コード⑦のもう一方の端子を、外部電源装置につなぎます。マイクホルンに乾電池が入っていても、電源は外部から供給されます。

保証書とアフターサービス
保証書
この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス
• **調子が悪いときは**
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
• **それ以外の悪いときは**
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのユーザーサービス窓口にご相談ください。

• **保証期間中の修理は**
保証書の記載内容に基づいて修理されて頂きます。詳しくは保証書をご覧ください。

• **保証期間経過後の修理は**
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させて頂きます。

電源について
乾電池で使うには(図C)
マイク本体をねじって開け、電池入れに単3乾電池1本を入れます。

乾電池についてのご注意
乾電池の使いかたを誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。

- ①と②の向きを正しく入れてください。
- 乾電池は充電できません。
- 長い間乾電池を使わないときは、取り出してください。液漏れが起きたときは、電池入れに入った液をよく取り除いてから新しい乾電池を入れてください。

* 液漏れが起きたときと修理が必要になることがあります。お買い上げ店、または「ユーザーサービス窓口」にご相談ください。

外部電源で使うには
マイクホルンの出力端子につないだ接続コード⑦のもう一方の端子を、外部電源装置につなぎます。マイクホルンに乾電池が入っていても、電源は外部から供給されます。

保証書とアフターサービス
保証書
この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス
• **調子が悪いときは**
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
• **それ以外の悪いときは**
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのユーザーサービス窓口にご相談ください。

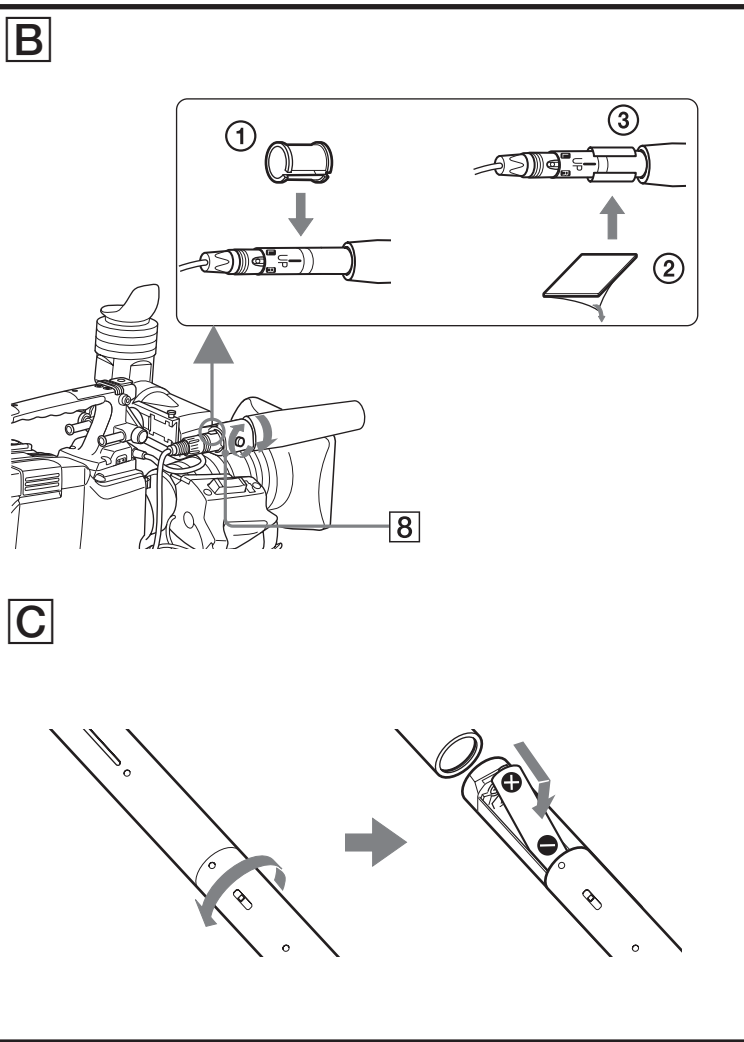
• **保証期間中の修理は**
保証書の記載内容に基づいて修理されて頂きます。詳しくは保証書をご覧ください。

• **保証期間経過後の修理は**
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させて頂きます。

電源について
乾電池で使うには(図C)
マイク本体をねじって開け、電池入れに単3乾電池1本を入れます。

乾電池についてのご注意
乾電池の使いかたを誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。

- ①と②の向きを正しく入れてください。
- 乾電池は充電できません。
- 長い間乾電池を使わないときは、取り出してください。液漏れが起きたときは、電池入れに入った液をよく取り除いてから新しい乾電池を入れてください。



Attaching to a Video Camera (Fig. B)

When attaching the microphone to a video camera using a microphone holder ⑧ (not supplied), attach the supplied microphone spacer (molded type) ④-a to the microphone ③. If vibration from the camcorder is of concern, use the microphone spacer (molded type) ④-b instead. Remove the two release sheets ② and wrap the spacer around the microphone grip ③.

Attach the microphone to the holder so the "UP" mark on the microphone faces upward to obtain correct directivity.

Power Supply
Supplying power from the battery (Fig. C)
Twist the microphone to open the battery compartment, then insert an R6 (size-AA) battery.

Notes on battery
If the battery is incorrectly treated, battery leakage or explosion may result. Please keep the following instructions.

- Insert the battery with correct orientation (⊕ and ⊖).
- Do not attempt to charge the battery.
- If you don't use the microphone for an extended period of time, remove the battery from the microphone compartment.
- If the battery leakage* has occurred, wipe the battery compartment carefully, then replace the battery with a new one.

* Repair may be necessary if the battery leakage has occurred. For details, consult your Sony service personnel.

Supplying power from external power supply
Connect the output connector of the microphone to the external power supply connecting cord. The power is supplied from the external power supply even when the battery is inserted into the microphone.

Notes

- If the power from the external power supply is cut when the battery is inserted into the microphone, it may take a certain amount of time until the internal battery starts to supply power to the microphone.
- When operating this microphone on the external power supply, do not use an unbalanced microphone cable. **Be sure to use a balanced microphone cable.**

Notes on Use
• Microphones are delicate. Do not drop or subject it to excessive shock.
• Avoid extended usage or storage in high humidity or temperatures above 60°C (140°F).
• If acoustic feedback occurs during use (a howling sound is heard from the speakers), point the microphone away from the speakers or increase the distance between the microphone and the speakers.

General	
Type	Back electret condenser microphone
Power supply	R6 (size-AA) battery or external power supply operation 40 V to 52 V DC
Current drain	Less than 0.6 mA (with battery) Less than 2 mA (with external power supply)
Output connector	Cannon XLR-3-12C type
Dimensions	20 dia. × 268 mm (1 ⁵ / ₁₆ dia. × 10 ⁵ / ₈ in.)
Mass	185 g (6.5 oz) (without battery) 208 g (7.3 oz) (with battery)
Supplied accessories	Wind screen (1), microphone holder (1), microphone spacer (2), connecting cord (1), stand adaptor (2), Operating Instructions (1), warranty booklet (1)
Performance	
Frequency response	40 Hz to 20,000 Hz
Directivity	Super cardioid
Output impedance	220Ω ±20%, balanced
Sensitivity (deviation ±3 dB)	-36 dB (0 dB = 1 V/Pa at 1 kHz)
Signal-to-noise ratio	More than 77 dB SPL (IEC 179, A-weighted, 1 kHz, 1 Pa)
Inherent noise	Less than 17 dB SPL (0 dB = 2 × 10 ⁻⁵ Pa)
Wind noise*	Less than 45 dB SPL (with wind screen) Less than 50 dB SPL (without wind screen)
Induction noise from external magnetic field	Less than 0 dB SPL/1 × 10 ⁻⁷ T (1 mG)
Maximum input sound pressure level	124 dB SPL (input level for 3% waveform distortion at 1 kHz, converted into equivalent input sound pressure level: 0 dB = 2 × 10 ⁻⁵ Pa)
Dynamic range	More than 107 dB SPL
Operating temperature	0°C to +50°C (32°F to 122°F)
Storage temperature	-20°C to +60°C (-4°F to 140°F)

* Wind noise is the value measured by applying a wind velocity of 2 m/sec. (6.6 fts) to the microphone from all directions. The mean value is taken and converted to the equivalent sound pressure level. (0 dB = 2 × 10⁻⁵ Pa)

Design and specifications are subject to change without notice.

English	
お買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。	
主な特長	
<ul style="list-style-type: none">周囲雑音を拾いにくい鋭指向性 鋭い指向性を持ち、卓上での集音をはじめ、屋外での狭角度集音やビデオカメラへの搭載など、中距離集音に適しています。 小型・軽量 全長268mm、重さ185gで、使いやすく持ち運びに便利です。 不要なノイズや低音域をカットするローカットスイッチ付き 風や振動による雑音を低減します。 2ウェイ方式の電源供給 単3乾電池(1本)と、外部電源(ファントム給電)のどちらでも使用できます。	
各部の名称と使いかた(図A)	

(The numbers refer to the corresponding numbers in the figure.)

- Microphone**
- LOW CUT switch**
The low cut filter reduces the wind noise effectively. **M (←)**: Normal setting **V (←)**: The low cut filter is applied.
- Output connector (XLR-3-12C type)**
The sound recorded with this microphone is output. The power is supplied to the microphone from an external equipment through this connector when the microphone is operating on the external power supply.
- 4-a) Microphone spacer (molded type) / 4-b) Microphone spacer (sheet type)**
When attaching the microphone to a video camera using a microphone holder (the one mounted on the camera or optional), attach the spacer to the grip of the microphone.
- Wind screen**
Attach to the microphone ① to reduce wind or breathing noise.
- Microphone holder**
When using a microphone stand (not supplied), attach the holder to the microphone. When the angle adjustment screw has become loose, tighten it with a coin.
- Connecting cord**
Used to connect the output connector of the microphone ③ to the input connector (XLR type) of the video camera (cable length: 500 mm).

Design and specifications are subject to change without notice.

Français

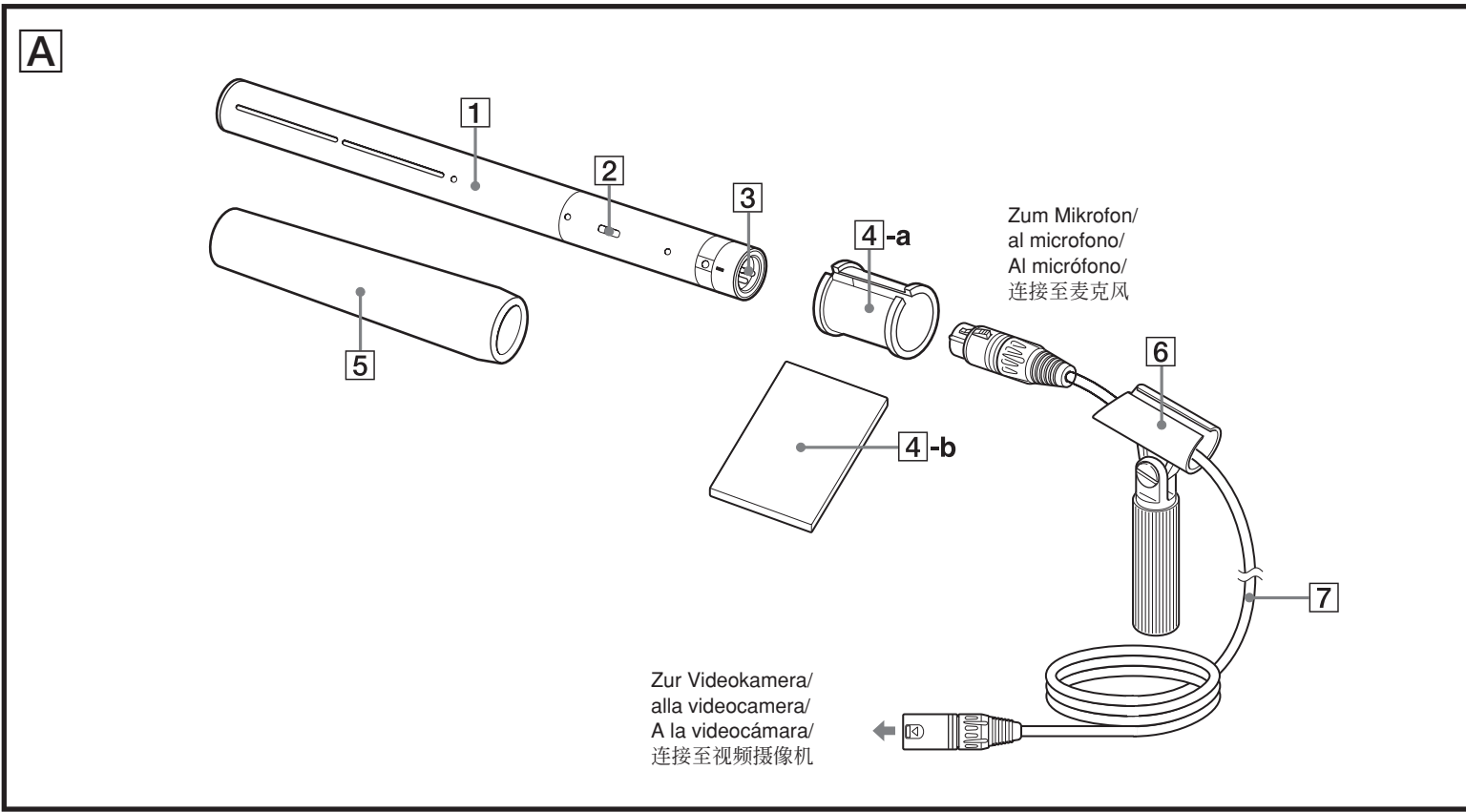
Avant d'utiliser ce microphone, lisez attentivement ce mode d'emploi à conserver pour toute référence ultérieure.

Pour les clients européens
Ce produit portant la marque CE est conforme à la Directive sur la compatibilité électromagnétique (EMC) émise par la Commission de la Communauté européenne. La conformité à cette directive implique la conformité aux normes européennes suivantes :

- EN55 103-1: Interférences électromagnétiques (émission)
- EN55 103-2: Sensibilité électromagnétique (immunité)

Ce produit est prévu pour être utilisé dans les environnements électromagnétiques suivants : E1 (résidentiel), E2 (commercial et industrie légère), E3 (urbain extérieur) et E4 (environnement EMC contrôlé, ex. studio de télévision).

Le fabricant de ce produit est Sony Corporation



Deutsch

Vor dem Betrieb des Mikrofons lesen Sie bitte diese Anleitung gründlich durch. Bewahren Sie die Anleitung zum Nachschlagen auf.

Für Kunden in Europa

Dieses Produkt besitzt die CE-Kennzeichnung und erfüllt die EMV-Richtlinie der EG-Kommission.

Angewandte Normen:

- EN55103-1: Elektromagnetische Verträglichkeit (Störaussendung)
- EN55103-2: Elektromagnetische Verträglichkeit (Störfestigkeit)

Für die folgenden elektromagnetischen Umgebungen: E1 (Wohnbereich), E2 (kommerzieller und in beschränktem Maße industrieller Bereich), E3 (Stadtbereich im Freien) und E4 (kontrollierter EMV-Bereich, z.B. Fernsehstudio).

Der Hersteller dieses Produkts ist Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan.

Der autorisierte Repräsentant für EMV und Produktsicherheit ist Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Deutschland. Bei jeglichen Angelegenheiten in Bezug auf Kundendienst oder Garantie wenden Sie sich bitte an die in den separaten Kundendienst- oder Garantiedokumenten aufgeführten Anschriften.

Für Kunden in Deutschland

Entsorgungshinweis: Bitte werfen Sie nur entladene Batterien in die Sammelboxen beim Handel oder den Kommunen. Entladen sind Batterien in der Regel dann, wenn das Gerät abschaltet und signalisiert "Batterie leer" oder nach längerer Gebrauchsdauer der Batterien "nicht mehr einwandfrei funktioniert". Um sicherzugehen, kleben Sie die Batteriepole z.B. mit einem Klebestreifen ab oder geben Sie die Batterien einzeln in einen Plastikbeutel.

Besondere Merkmale

• **Superieren-Mikrofon mit minimaler Empfindlichkeit gegen Umgebungslärm**
Durch die ausgeprägte Richtcharakteristik werden Umgebungsgeräusche, wie etwa bei Konferenzen und Vorlesungen, bei Verwendung mit einer Videokamera und zur Aufnahme im Freien, wirkungsvoll unterdrückt.

Kompakt und leicht

Dank der kompakten Abmessungen von Durchm. 20 × 268 mm und dem geringen Gewicht von 185 g kann das Mikrofon problemlos überall hin mitgenommen werden.

• **LOW CUT-Schalter, der nicht notwendiges Niederfrequenz schneidet**
Der niedrige Schnitffilter verringert das Geräuschauftreten wegen des Winds oder der Erschütterung.

• **Zwei wählbare Arten der Stromversorgung**
Das Mikrofon kann von einer R6-Batterie (Mignon, AA) oder einer externen Stromversorgung (Phantom-Stromversorgung) gespeist werden.

Bezeichnungen und Funktionen der Teile (Abb. A)

(Die Nummern entsprechen den jeweiligen Nummern in der Abbildung.)

- Mikrofon**
- LOW CUT-Schalter**
Der Low-Cut-Filter verringert wirksam Windgeräusche.
M (←): Normaleinstellung
V (←): Der Low-Cut-Filter wird angelegt.
- Ausgangsanschluss (Typ XLR-3-12C)**
Der mit dem Mikrofon aufgenommene Ton wird ausgegeben. Das Mikrofon wird von einem externen Gerät über diesen Anschluss mit Strom versorgt wenn das Mikrofon mit externer Stromversorgung arbeitet.
- a Mikrofon-Distanzstück (rundlich) / 4-b Mikrofon-Distanzstück (flach)**
Beim Anbringen des Mikrofons an eine Videokamera mit einem Mikrofonhalter (dem an der Kamera angebracht oder einem optionalen), bringen Sie das Distanzstück am Griff des Mikrofons an.
- Windschutz**
Am Mikrofon **1** anbringen, um Wind- oder Atemgeräusche zu reduzieren.
- Mikrofonhalter**
Bei Verwendung eines Mikrofonständers (nicht mitgeliefert) bringen Sie den Halter am Mikrofon an. Wenn die Winkeleinstellschraube locker geworden ist, mit einer Münze festziehen.
- Verbindungskabel**
Dient zum Verbinden des Ausgangsanschlusses des Mikrofons **3** mit dem Eingangsanschluss (XLR-Typ) der Videokamera (Kabellänge: 500 mm).

Anbringen an einer Videokamera (Abb. B)

Beim Anbringen des Mikrofons an eine Videokamera mit einem Mikrofonhalter **8** (nicht mitgeliefert), bringen Sie das mitgelieferte Mikrofon-Distanzstück (rundlich) **4-a** am Mikrofon **1** an. Sollte die Gefahr bestehen, dass der Camcorder Vibrationen ausgesetzt wird, verwenden Sie stattdessen den Mikrofon-Abstandhalter (rundlich) **4-b**. Entfernen Sie die zwei Trennblätter **9** und wickeln Sie den Abstandhalter um den Mikrofonhalter **8**.

Anbringen des Mikrofons danach am Halter so an, dass die Markierung "UP" am Mikrofon nach oben weist, um richtige Ausrichtung zu erhalten.

Stromversorgung

Anlegen von Strom von der Batterie (Abb. C)

Drehen Sie das Mikrofon zum Öffnen des Batteriefachs und setzen Sie eine R6-Batterie (Mignon, AA) ein.

Hinweise zur Batterie

Wenn die Batterie falsch behandelt wird kann die Batterie leck werden oder explodieren. Bitte beachten Sie die folgenden Anweisungen.

- Die Batterie mit richtiger Polung (Ausrichtung von ⊕ und ⊖) einsetzen.
- Nicht versuchen, die Batterie aufzuladen.
- Wenn Sie das Mikrofon längere Zeit über nicht verwenden, entnehmen Sie die Batterie aus dem Batteriefach.
- Wenn ein Batterieleck* aufgetreten ist, wischen Sie das Batteriefach sorgfältig ab und ersetzen die Batterie.

- * Bei Batterielecks können Reparaturen erforderlich werden. Einzelheiten erfragen Sie beim Sony-Kundendienst.

Stromversorgung über einer externe Stromquelle

Verbinden Sie den Ausgangsanschluss des Mikrofons mit der externen Stromquelle über das Verbindungskabel. Der Strom wird von der externen Stromquelle zugeführt, auch wenn die Batterie in das Mikrofon eingesetzt ist.

Hinweise

• Wenn Strom von der externen Stromquelle abgebrochen wird, wenn die Batterie in das Mikrofon eingesetzt wird, kann eine bestimmte Zeit erforderlich sein, bevor die interne Batterie die Stromversorgung zum Mikrofon übernimmt.

• Beim Betrieb dieses Mikrofons mit externer Stromversorgung verwenden Sie nicht ein unsymmetrisches Mikrofonkabel. **Verwenden Sie immer ein symmetrisches Mikrofonkabel.**

Hinweise zur Verwendung

- Mikrofone sind empfindlich. Nicht fallenlassen und vor Stößen schützen.
- Vermeiden Sie längere Verwendung oder Lagerung des Mikrofons bei hoher Luftfeuchtigkeit oder Temperaturen über 60°C.
- Wenn bei der Verwendung akustische Rückkopplung auftritt (es kommen Heulgeräusche von den Lautsprechern), richten Sie das Mikrofon von den Lautsprechern weg, oder halten Sie es weiter von den Lautsprechern entfernt.

Italiano

• Wenn Strom von der externen Stromquelle abgebrochen wird, wenn die Batterie in das Mikrofon eingesetzt wird, kann eine bestimmte Zeit erforderlich sein, bevor die interne Batterie die Stromversorgung zum Mikrofon übernimmt.

Hinweise zur Verwendung

- Mikrofone sind empfindlich. Nicht fallenlassen und vor Stößen schützen.
- Vermeiden Sie längere Verwendung oder Lagerung des Mikrofons bei hoher Luftfeuchtigkeit oder Temperaturen über 60°C.
- Wenn bei der Verwendung akustische Rückkopplung auftritt (es kommen Heulgeräusche von den Lautsprechern), richten Sie das Mikrofon von den Lautsprechern weg, oder halten Sie es weiter von den Lautsprechern entfernt.

Technische Daten	
Allgemeines	
Typ	Back-Electret-Kondensatormikrofon
Stromversorgung	R6 (AA-) Batterie oder externe Stromversorgung 40 V bis 52 V Gleichstrom
Stromaufnahme	Weniger als 0,6 mA (mit Batterie) <p>Weniger als 2 mA (mit externer Stromversorgung)</p> Canon Typ XLR-3-12C 20 Durchm. × 268 mm 185 g (ohne Batterie) 208 g (mit Batterie)
Ausgangsanschluss	Windschutz (1), Mikrofonhalter (1), Mikrofon-Distanzstück (2), Verbindungskabel (1), Standardadapter (2), Bedienungsanleitung (1), Garantieheft (1)
Abmessungen	
Gewicht	
Mitgeliefertes Zubehör	
Leistung	
Frequenzgang	40 Hz bis 20 000 Hz
Richtcharakteristik	Superniere
Ausgangsimpedanz	220Ω ±20%, symmetrisch
Empfindlichkeit (Abweichung ±3 dB)	−36 dB (0 dB = 1 V/Pa bei 1 kHz)
Signal-/Rauschabstand	Mehr als 77 dB SPL (IEC 179, A-gewichtet, 1 kHz, 1 Pa)
Grundrauschen	Weniger als 17 dB SPL (0 dB = 2 × 10 ^{−5} Pa)
Windrauschen*	Weniger als 45 dB SPL (mit Windschutz) <p>Weniger als 50 dB SPL (ohne Windschutz)</p>
Induktionsrauschen von externem Magnetfeld	Weniger als 0 dB SPL/1 × 10 ⁷ T (1 mG)
Maximaler Eingangsschalldruckpegel	124 dB SPL (Eingangsspegel bei 3% Wellenformverzerrung bei 1 kHz, umgewandelt in entsprechenden Eingangsschalldruckpegel: 0 dB = 2 × 10 ^{−9} Pa) <p>Über 107 dB SPL 0°C bis +50°C −20°C bis +60°C</p>
Dynamikumfang	
Betriebstemperatur	
Lagertemperatur	

* Zur Messung des Winderäusches wird das Mikrofon einem Wind mit einer Geschwindigkeit von 2 m/s aus allen Richtungen ausgesetzt. Der Durchschnittswert wird dann in den äquivalenten Schalldruckpegel umgerechnet. (0 dB = 2 × 10^{−5} Pa)

• **Zwei wählbare Arten der Stromversorgung**
Das Mikrofon kann von einer R6-Batterie (Mignon, AA) oder einer externen Stromversorgung (Phantom-Stromversorgung) gespeist werden.

• **LOW CUT-Schalter, der nicht notwendiges Niederfrequenz schneidet**
Der niedrige Schnitffilter verringert das Geräuschauftreten wegen des Winds oder der Erschütterung.

• **Zwei wählbare Arten der Stromversorgung**
Das Mikrofon kann von einer R6-Batterie (Mignon, AA) oder einer externen Stromversorgung (Phantom-Stromversorgung) gespeist werden.

Bezeichnungen und Funktionen der Teile (Abb. A)

- Mikrofon**
- LOW CUT-Schalter**
Der Low-Cut-Filter verringert wirksam Windgeräusche.
M (←): Normaleinstellung
V (←): Der Low-Cut-Filter wird angelegt.
- Ausgangsanschluss (Typ XLR-3-12C)**
Der mit dem Mikrofon aufgenommene Ton wird ausgegeben. Das Mikrofon wird von einem externen Gerät über diesen Anschluss mit Strom versorgt wenn das Mikrofon mit externer Stromversorgung arbeitet.
- a Mikrofon-Distanzstück (rundlich) / 4-b Mikrofon-Distanzstück (flach)**
Beim Anbringen des Mikrofons an eine Videokamera mit einem Mikrofonhalter (dem an der Kamera angebracht oder einem optionalen), bringen Sie das Distanzstück am Griff des Mikrofons an.
- Windschutz**
Am Mikrofon **1** anbringen, um Wind- oder Atemgeräusche zu reduzieren.
- Mikrofonhalter**
Bei Verwendung eines Mikrofonständers (nicht mitgeliefert) bringen Sie den Halter am Mikrofon an. Wenn die Winkeleinstellschraube locker geworden ist, mit einer Münze festziehen.
- Verbindungskabel**
Dient zum Verbinden des Ausgangsanschlusses des Mikrofons **3** mit dem Eingangsanschluss (XLR-Typ) der Videokamera (Kabellänge: 500 mm).

Italiano

Prima di usare il microfono, leggere con attenzione questo manuale. Conservare questo manuale per eventuali riferimenti futuri.

Per i clienti in Europa

Questo prodotto recante il marchio CE è conforme sia alla direttiva sulla compatibilità elettromagnetica (EMC) emessa dalla Commissione della Comunità Europea.

La conformità a queste direttive implica la conformità alle seguenti normative europee:

- EN55103-1: Interferenza elettromagnetica (Emissione)
 - EN55103-2: Sensibilità ai disturbi elettromagnetici (Immunità)
- Questo prodotto è destinato all'uso nei seguenti ambienti elettromagnetici: E1 (residenziali), E2 (commerciali e industriali leggeri), E3 (esterni urbani) e E4 (ambienti EMC controllati, ad esempio studi televisivi).

Il fabbricante di questo prodotto è la Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Giappone.
La rappresentanza autorizzata per EMC e la sicurezza dei prodotti è la Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stoccarda, Germania. Per qualsiasi questione riguardante l'assistenza o la garanzia, si prega di rivolgersi agli indirizzi riportati nei documenti sull'assistenza o sulla garanzia a parte.

Caratteristiche

• **Microfono supercardioide con sensibilità minima al rumore ambiente**
L'acuta direttività del microfono rende il microfono idoneo per registrazioni a media distanza come nel caso di conferenze e lezioni, per l'uso su una videocamera, e per registrazioni in esterni entro un campo ristretto.

• **Compatto e leggero**
Grazie alle sue ridotte dimensioni di 20 mm di diametro × 268 mm e grazie al suo peso di 185 g, il microfono può essere utilizzato e trasportato facilmente.

• **Interruttore di filtro low cut che taglia a bassa frequenza inutile**
Il filtro basso del taglio riduce l'avvenimento di rumore dovuto vento o la vibrazione.

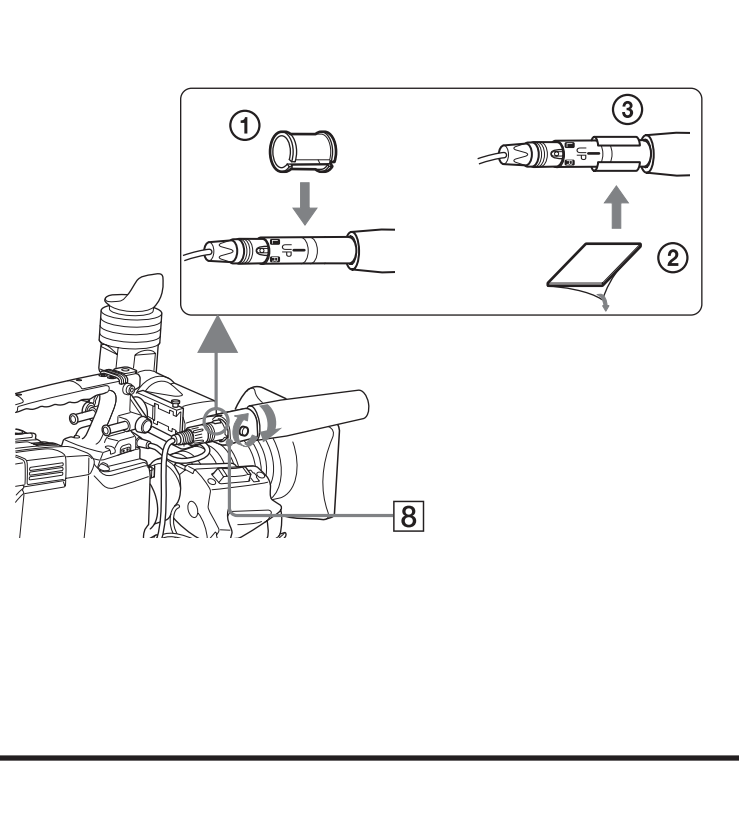
• **Possibilità di selezionare due tipi di alimentazione**
Il microfono si può alimentare con una pila R6 (formato AA) o con un alimentatore esterno (alimentazione phantom).

Nomi e funzioni delle parti (Fig. A)

(I numeri indicano i numeri corrispondenti nella figura.)

- Microfono**
- Interruttore di filtro low cut (LOW CUT)**
Il filtro low cut riduce efficacemente il rumore eolico.
M (←): Regolazione normale
V (←): Il filtro low cut viene applicato.
- Connettore di uscita (tipo XLR-3-12C)**
Da questo connettore viene emesso il suono registrato con il

B



microfono. Tramite questo connettore l'alimentazione viene fornita al microfono da un apparecchio esterno quando il microfono sta funzionando con un alimentatore esterno.

4-a Distanziatore per microfono (tipo modellato)**4-b Distanziatore per microfono (tipo a foglio)**

Quando si applica il microfono ad una videocamera usando un portamicrofono (quello montato sulla videocamera o uno opzionale), applicare il distanziatore all'impugnatura del microfono.

5 Antisoffio
Applicarlo al microfono **1** per ridurre il rumore eolico o il rumore del respiro.

6 Portamicrofono
Quando si usa un supporto microfono (non in dotazione), applicare il portamicrofono al microfono. Se la vite per regolare l'angolo si è allentata, stringerla con una moneta.

7 Cavo di collegamento
Serve per collegare il connettore di uscita del microfono **3** al connettore di ingresso (tipo XLR) della videocamera (lunghezza del cavo: 500 mm).

El fabricante de este producto es Sony Corporation, con dirección en 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokio, Japón.

El Representante autorizado para EMC y seguridad del producto es Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemania. Para asuntos relacionados con el servicio y la garantía, consulte las direcciones entregadas por separado para los documentos de servicio o garantía.

El fabricante de este producto es Sony Corporation, con dirección en 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokio, Japón.
El Representante autorizado para EMC y seguridad del producto es Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemania. Para asuntos relacionados con el servicio y la garantía, consulte las direcciones entregadas por separado para los documentos de servicio o garantía.

El fabricante de este producto es Sony Corporation, con dirección en 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokio, Japón.
El Representante autorizado para EMC y seguridad del producto es Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemania. Para asuntos relacionados con el servicio y la garantía, consulte las direcciones entregadas por separado para los documentos de servicio o garantía.

Applicazione ad una videocamera (Fig. B)

Per applicare il microfono ad una video camera usando un portamicrofono **8** (non dotazione),collegare il distanziatore per microfono in dotazione (tipo modellato) **4-a** al microfono **1**. Se la vibrazione del camcorder è fastidiosa, usare invece il distanziatore per microfono (tipo modellato) **4-b**. Rimuovere i due fogli di protezione **9** ed avvolgere lo spaziozatore intorno all'impugnatura del microfono **1**.

Collegare il microfono applicare questo al portamicrofono in modo che l'indicazione "UP" sul microfono sia rivolta verso l'alto, in modo da ottenere la direttività corretta.

Alimentazione

Alimentazione con la pila (Fig. C)

Girare il microfono per aprire il vano pila, quindi inserire una pila R6 (formato AA).

Note sulla pila

Se la pila non si inserisce correttamente, si potrebbe verificare un versamento di liquido della pila o un'esplosione. Seguire attentamente le seguenti istruzioni.

- Inserire la pila con l'orientazione corretta (⊕ e ⊖).
- Non cercare di ricaricare la pila.
- Se non si usa il microfono durante un lungo periodo di tempo, rimuovere la pila dal vano pila.
- Se si verifica un versamento di liquido* dalla pila, asciugare il vano pila con cura, quindi sostituire la pila con una nuova.

* È possibile che occorra una riparazione se si è verificato un versamento di liquido dalla pila. Per dettagli consultare il proprio rappresentante tecnico Sony.

• **Zwei wählbare Arten der Stromversorgung**
Das Mikrofon kann von einer R6-Batterie (Mignon, AA) oder einer externen Stromversorgung (Phantom-Stromversorgung) gespeist werden.

• **LOW CUT-Schalter, der nicht notwendiges Niederfrequenz schneidet**
Der niedrige Schnitffilter verringert das Geräuschauftreten wegen des Winds oder der Erschütterung.

• **Zwei wählbare Arten der Stromversorgung**
Das Mikrofon kann von einer R6-Batterie (Mignon, AA) oder einer externen Stromversorgung (Phantom-Stromversorgung) gespeist werden.

Note

• Se si interrompe l'alimentazione esterna e la pila è inserita nel microfono, è possibile che occorra un certo tempo prima che la pila inizi ad alimentare il microfono.

• Quando si usa questo microfono con un alimentatore esterno, non usare un cavo del microfono non bilanciato. **Accertarsi di usare un cavo per microfono bilanciato.**

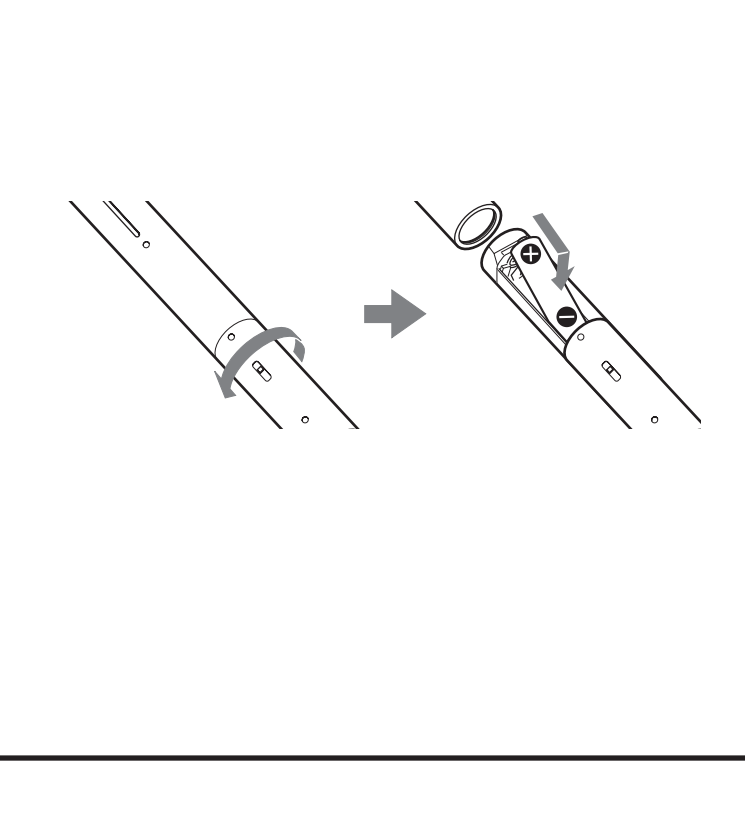
Caratteristiche tecniche

Dati generali	
Tipo	Microfono a condensatore a elettrete posteriore
Alimentazione	Pila R6 (formato AA) o alimentatore esterno CC di 40 V a 52 V
Assorbimento di corrente	Meno di 0,6 mA (con pila) <p>Meno di 2 mA (con alimentatore esterno)</p> Tipo Cannon XLR-3-12C 20 mm di diametro × 268 mm 185 g (senza pila) 208 g (con pila)
Connettore di uscita	Meno di 0,6 mA (con pila) <p>Meno di 2 mA (con alimentatore esterno)</p> Tipo Cannon XLR-3-12C
Dimensioni	20 mm di diametro × 268 mm
Massa	185 g (senza pila) <p>208 g (con pila)</p>
Accessori in dotazione	Antisoffio (1), portamicrofono (1), distanziatore per microfono (2), cavo di collegamento (1), adattatori per supporto (2), Istruzioni per l'uso (1), Libretto di garanzia (1)
Prestazioni	
Risposta in frequenza	Da 40 Hz a 20.000 Hz
Direttività	Supercardioide
Impedenza di uscita	220 Ω ±20%, bilanciata
Sensibilità (deviazione ±3 dB)	−36 dB (0 dB = 1 V/Pa a 1 kHz)
Rapporto segnale/rumore	Più di 77 dB SPL (IEC 179, pesato A, 1 kHz, 1 Pa)
Rumore inerente	Meno di 17 dB SPL (0 dB = 2 × 10 ^{−5} Pa)
Rumore eolico*	Meno di 45 dB SPL (con schermo eolico) <p>Meno di 50 dB SPL (senza schermo eolico)</p>
Rumore per induzione da campo magnetico esterno	Meno di 0 dB SPL/1 × 10 ⁷ T (1 mG)
Livello massimo di pressione acustica di ingresso	124 dB SPL (livello di ingresso per distorsione della forma d'onda dell'3% a 1 kHz, convertito nel livello di pressione acustica di ingresso equivalente: 0 dB = 2 × 10 ^{−5} Pa)
Gamma dinamica	Più di 107 dB SPL
Temperatura di impiego	Da 0°C a +50°C
Temperatura di deposito	Da −20°C a +60°C

* Il rumore eolico è il valore misurato applicando una velocità del vento di 2 m al secondo al microfono da tutte le direzioni. Il valor medio viene ricavato e convertito nel livello di pressione acustica equivalente (0 dB = 2 × 10^{−5} Pa).

Design e caratteristiche tecniche soggetti a modifiche senza preavviso.

C



Español

Antes de utilizar el micrófono, lea completamente este manual. Este manual debe guardarse para su referencia en el futuro.

Para los clientes de Europa

Este producto cumple con las directivas de compatibilidad electromagnética de la Comisión Europea.
El cumplimiento de estas directivas implica la conformidad con los siguientes estándares europeos:

- EN55103-1: Interferencia electromagnética (Emisión)
 - EN55103-2: Susceptibilidad electromagnética (Inmunidad)
- Este producto está ha sido diseñado para utilizarse en los entornos electromagnéticos siguientes: E1 (zona residencial), E2 (zona comercial e industrial ligera), E3 (exteriores urbanos), y E4 (entorno con EMC controlada, p. ej., estudio de televisión).

El fabricante de este producto es Sony Corporation, con dirección en 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokio, Japón.

El Representante autorizado para EMC y seguridad del producto es Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemania. Para asuntos relacionados con el servicio y la garantía, consulte las direcciones entregadas por separado para los documentos de servicio o garantía.

Caratteristiche

• **Microfono super cardioide con minima sensibilità al ruido del ambiente**
La clara directividad del microfono lo hace adecuado para grabación de distancias medias tales como una conferencia o clase, para utilizar en una videocámara o para grabación en exteriores dentro de una gama estrecha.

• **Compacto y ligero**
Debido a su pequeño tamaño de 20 diám × 268 mm y peso de 185 g, el micrófono puede utilizarse y llevarse fácilmente.

• **Interruptor LOW CUT que corta frecuencia baja innecesaria**
El filtro bajo del corte reduce ocurrir del ruido debido al viento o a la vibración.

• **Dos alimentaciones eléctricas**
El micrófono puede funcionar con una pila R6 (tamaño AA) o una alimentación eléctrica externa (fuente eléctrica fantasma).

• **LOW CUT switch, que no necesario el bajo frecuencia**
El filtro bajo del corte reduce el ruido debido al viento o a la vibración.

• **Dos tipos de alimentación**
El micrófono puede funcionar con una pila R6 (tamaño AA) o una alimentación eléctrica externa (fuente eléctrica fantasma).

• **LOW CUT switch, que no necesario el bajo frecuencia**
El filtro bajo del corte reduce el ruido debido al viento o a la vibración.

• **Dos tipos de alimentación**
El micrófono puede funcionar con una pila R6 (tamaño AA) o una alimentación eléctrica externa (fuente eléctrica fantasma).

• **LOW CUT switch, que no necesario el bajo frecuencia**
El filtro bajo del corte reduce el ruido debido al viento o a la vibración.

• **Dos tipos de alimentación**
El micrófono puede funcionar con una pila R6 (tamaño AA) o una alimentación eléctrica externa (fuente eléctrica fantasma).

• **LOW CUT switch, que no necesario el bajo frecuencia**
El filtro bajo del corte reduce el ruido debido al viento o a la vibración.

• **Dos tipos de alimentación**
El micrófono puede funcionar con una pila R6 (tamaño AA) o una alimentación eléctrica externa (fuente eléctrica fantasma).

• **LOW CUT switch, que no necesario el bajo frecuencia**
El filtro bajo del corte reduce el ruido debido al viento o a la vibración.

• **Dos tipos de alimentación**
El micrófono puede funcionar con una pila R6 (tamaño AA) o una alimentación eléctrica externa (fuente eléctrica fantasma).

Instalación en una videocámara (Fig. B)

Cuando instala el micrófono en una videocámara utilizando un soporte de micrófono **8** (no suministrado), instale el espaciador de micrófono (tipo moldeado) **4-a** en el micrófono **1**. Si la vibración de la videocámara resulta un problema, utilice en su lugar el espaciador de micrófono (tipo moldeado) **4-b**. Quite las dos hojas de protección **9** y enrollé el espaciador alrededor de la empuñadura del micrófono **1**.

Instale el microfono instálolo en el soporte de tal forma que la marca "UP" en el micrófono mira hacia arriba para obtener la directividad correcta.

Alimentación eléctrica

Gire el micrófono para abrir el compartimento de la pila y coloque una pila R6 (tamaño AA).

Notas sobre la pila

Si trata incorrectamente la pila, puede provocar una fuga o explosión de la pila. Guarde las siguientes instrucciones.

- Inserte la pila en el sentido correcto (⊕ y ⊖).
- No trate de cargar la pila.
- Si no va a utilizar el micrófono durante un largo período de tiempo, saque la pila del compartimiento de la pila.
- Si se produjo una fuga* de la pila, limpie cuidadosamente el compartimiento de la pila y cambie la pila por una nueva.

* Puede ser necesario hacer reparaciones si se produjo una fuga de la pila. Para más detalles consulte con el técnico de servicio de Sony.

Alimentación eléctrica externa

Conecte el conector de salida del micrófono en la alimentación eléctrica externa con el cable de conexión. La fuente eléctrica proviene de una alimentación eléctrica externa incluso cuando haya una pila en el micrófono.

• **LOW CUT switch, que no necesario el bajo frecuencia**
El filtro bajo del corte reduce el ruido debido al viento o a la vibración.

• **Dos tipos de alimentación**
El micrófono puede funcionar con una pila R6 (tamaño AA) o una alimentación eléctrica externa (fuente eléctrica fantasma).

• **LOW CUT switch, que no necesario el bajo frecuencia**
El filtro bajo del corte reduce el ruido debido al viento o a la vibración.

• **Dos tipos de alimentación**
El micrófono puede funcionar con una pila R6 (tamaño AA) o una alimentación eléctrica externa (fuente eléctrica fantasma).

•